



# 戸田ゆうじ議会報告

淡路市議会議員 戸田ゆうじ 後援会発行

## 新しい 淡路市をつくる



2018 8月号  
No.2

### 行政の市民感覚とかけ離れたコスト意識／閉ざされた議会（裏面）

#### 「旧津名事務所の件」

今年解体工事が実施され、更地となっている旧津名事務所(旧津名町役場)

この津名事務所に

平成 21 年：1,974 万円で改修工事を行う

平成 21 年：5,919 万円で外壁改修工事を実施

平成 22 年：電気修繕工事

合計約 **8,000 万円もの事業費を支出**している。

しかし、耐震性に問題があるという理由から 7 年後の平成 29 年 10 月に解体工事 **3,056 万円**の入札を行い実施。

通常、市民が自宅の内装工事や外壁工事をしてから 7 年で自宅を解体するだろうか？これら事業の経済性・有効性は適正であったのか疑問である。

#### ① なぜ、改修工事の前に耐震調査を実施しなかったのか？

しかもこれらの事業費は国の交付金を使用しており、現在、総務省(国)と交付金について**返還の協議中**である。

そもそも旧町役場で事務所が無くなったのは津名だけ。(岩屋は保健センターに移転)公共交通の整備がない市役所へ、車を利用しない市民の足はどうするのか。

#### ② この旧津名事務所の土地に、現在新しい公共施設の建設計画があり、第 2 庁舎、公民館、シルバー人材センターなど

#### 整理・集約し、余分な借地は返すべきである。

旧事務所建物の底地以外は借地であり、市は 1 年間約 **850 万円支出**している。

また、イオン淡路店アルクリオ 1 F の「出前事務所」消費生活センターの家賃は年額 **567 万円**。これを新設される施設に移転すれば良いのでは？

そして現在、

- ③ 市はこの津名事務所第 2 庁舎・駐車場を**民間企業及び団体・法人に貸し出す予定で公募中**である。  
長年借りているとはいえ、**不要であるなら返還すべき**であるはず。納得のいかない事業計画と言える。

今後、国からの交付金も削減が決定している中、費用対効果を考え支出すべきであり、**効率的な土地活用と市民への利便性を考慮**すべき。

行政が支出する事業費、人件費等経費、補助金などのすべては、言わずと知れた我々の納める税金、血税である。

県、国からの交付金もしかり…無駄な支出は許されない。

その用途は明確かつ公平であるべき。

また、入札による業者採択についても公平、機会均等が求められる。

裏面へ「淡路関空ライン補助金の件」・「閉ざされた議会」

## 「淡路関空ライン補助金の件」

6月14日突如新聞報道された

### 「洲本—関空航路7月に休止」

島内3市とも今年の3月定例議会で同航路：淡路関空ライン(株)に対しての補助金支出議案を説明。上程、可決される。補助金は3市で構成する「淡路広域行政事務組合」の基金から支出。

洲本市、南あわじ市、淡路市、各1,500万円、さらに追加で洲本市1,500万円、**合計6,000万円**。

入金日は5月18日。

その後、広域行政事務組合(3市長とも)は、運行の継続要望を関空ラインに伝える。

### 疑問点

- ① 3月議会で出資に関して  
「淡路関空航路について将来に渡って持続的に活用するため」と市当局が説明しているにも係わらず、早すぎる休止
- ② 5月18日に補助金を入金しているが、いつ休止の連絡があったのか
- ③ 洲本—関空ラインのスタート時点や運行前には各議会で説明や相談も無く、補助金が発生して初めて議案として上がっている

### 「6,000万円 補助金の行方」

7月5日に記者会見し、6日に新聞報道された内容によると、淡路関空ライン(株)会長は「要求があれば返還する」とのこと。

先日の議会説明に於いて、市当局へ「返還を求めるのか」と訊ねると、「来春からの運行計画を見極めて判断する」との答弁。

市は本当に返還を求める意志があるかどうかは不明。

今後の動向に注目したい。

## 市民目線と離れた「閉ざされた議会」

### 1. 「緊急質問」否決される

6月14日洲本関空航路来月休止の新聞報道を受けて、急遽この件の質問を議会で行うべく、戸田から「緊急質問」を提出。(翌15日に質問予定であった)

6月14日、他の議員の一般質問終了後、議会運営委員会で提出した質問を審議したが、なぜか「緊急性がない」との意見で否決。翌日の本会議でも**反対多数で否決**された。

賛成者：戸田・田尾・針木・鎌塚議員

税金を投入し直後に休止発表した航路については、多くの議員・市民が疑問を持っており、質問したい事項があるはずだ。にもかかわらず、反対多数。

臭いものに蓋をするのか、市長に忖度しているのか…不思議である。

### 2. 政務活動費の是非

6月議会に於いて田尾議員と戸田は**政務活動費の廃止を提案・発議**した。

淡路市議会の政務活動費は、月額：12,500円、年額：15万円/1人。総額：270万円。

多額の債務を抱える淡路市で、年270万円を**子育て支援策などの実施に充当すべき**との考えからである。

しかし、反対多数により議会運営委員会で継続審査に。

「淡路市議会政務活動費支出報告」では、3名の議員が一般新聞紙購読料に支出。「淡路市議会政務活動費運用基準」では適用されるが、市民の大多数の家庭で一般新聞を購入しており、このような支出などにより、市民から不信感を抱かれる懸念がある。

\* 淡路市HPにて政務活動費領収書(コピー)公開

# 戸田ゆうじ が考える「新しい淡路市」 その2

淡路市の可能性を活かすため、及び地域活性化に向け抜本的な交通政策に取り組む

- 阪神間のベッドタウンとなりうる、明石海峡大橋を活用した斬新な交通網整備（観光にも大きく寄与する）
- 旧町ごとのコミバス整備

本チラシ、議会、行政、地域のご相談などについてご意見、ご希望は、

戸田ゆうじ mail:cosmo.007@i.softbank.jp または fax:0799-72-3282 までご連絡下さい。